特集 800号記念特集

順天堂医学. 2005, 51
P. 462~464

都民公開講座の経緯

黒 澤 尚*

HISASHI KUROSAWA

《都民公開講座》は本年まで16回を数えるに至った。記念すべき第1回の《都民講座》は小川理事長（当時学部長）の発案で1998年6月27日に開催された。この回の発足については、第1回の本講座での小川理事長の話の中でその経緯を述べられているのでそれを引用させていただく。

「創立以来われわれ順天堂に学んだ人々が大事にしてきましたことは、患者さんを大切にすることです。患者さんと共に悩み、共に考えながら、最新の医療を行う。特に、自分が病気になったような気持ちで患者さんに接するよう、私どもの若い学生に、あるいは医師に教育しております。医の倫理、もっと簡単に言えば、「自分の母親にできるか、自分の子供にできるか、そういう問いを発しつつ、医療を行うように」ということを教育しております。大学教授あるいはスタッフというものは、大学で講義をしたり、あるいはこのような学術集会や学術講演会あるいは、医師会の先生方に対して講演を行うというのが、普通の形でございます。しかし、この順天堂におきましては、患者さんとその家族の方と一つの病気の原因、対策、予防について、どうすればよいかを一緒に話し合うことを積極的に始めようということで、今回初めて医学部主催による《都民公開講座》を開催させていただきました。〈市民公開講座〉という名前で医学部同窓会や医学会の人たちと一緒に構想を練ってきました。東京都に後援をして欲しい要請をいたしましたところ、「前例が

ないということでしたが、種々の方々のご尽力のお陰で、順天堂がおやりになるのでしたら後援します。但しく市民〉という名称を是非〈都民〉にして欲しい。」とのことでした。さて、東京都も後援していただき、東京都医師会もこの会を後援してくれております。つまり東京都・東京都医師会、そして全学をあげて後援して本日の会を開催することができました。私どもが大変な喜びと致すところでございます。」

これまで、文末に載せたように都民が関心を寄せる様々な疾患や病態をテーマにしてきている。それらのテーマをざっと挙げてみると、糖尿病、肥満、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、花粉症、虚血性心疾患、アルツハイマー病とパーキンソン病、がん、関節痛、老化、健康とスポーツ、中高年女性の疾患、かぜとインフルエンザ、前立腺癌、等々でいずれも罹患患者が多く都民の方々の関心の深いテーマばかりある。聴講者は事前に申し込みをするのだがほぼ常に有山記念館講堂の定数をはるかに越える方々が申し込まれて主催者側としてはお断りするのに苦慮している現状である。

前述した小川理事長の言葉通り、順天堂の「患者さんと共に悩み、歩む医学」を具現化している本公開講座が都民の本学と病院に対する信頼感をさらに強めているものとなっている。現在、順天堂附属病院は本郷の他、静岡、浦安、越谷、東京江東高齢者医療センター、そして練馬病院と6つを数えるほど拡大している。それぞれの附属病院がそれぞれの地域を対象としてこのような講演会を開くようになったらば（一部ではもうやっているようだが）、とひそかに願っている。

* 順天堂医学編集委員

順天堂大学医学部整形外科講座教授

〔Oct.26, 2005 原稿受領〕

～都民公開講座～

第1回都民公開講座 1998.6.27

「第1回都民公開講座」〈糖尿病と付き合う〉

開催にあたって 小川秀興

「糖尿病と付き合う」開催で感じたこと

河盛隆造

なぜ今、生活習慣の改善が必要なのか

田中 逸

糖尿病の教育入院で何を体験するのか 照沼則子

無理なく出来る食事療法のコツ 鈴木和子

今日から始める歩行療法 形本静夫

第2回都民公開講座 1999.1.30

「第2回都民公開講座」〈肥満のこわさ〉

開催にあたって 小川秀興

「都民公開講座」肥満のこわさによせて

河盛隆造 蒲原聖可

小児科の立場から 山城雄一郎

肥満予防のための食生活改善対策 高橋徳江

肥満解消のための無理のない運動 佐久間和彦

高血圧・心臓病といわれた方の運動療法

戸島郁子

第3回都民公開講座 1999.7.3

「第3回都民公開講座」〈アトピー性皮膚炎の原因と治療と予防〉開催にあたって 小川秀興

アレルギーの分子医学的究明と克服をめざして

羅 智靖

アトピー性皮膚炎の治療法 吉地高志

アトピー性皮膚炎と食物

—特に小児領域において— 小川 学

食物アレルギーの食事療法 高橋徳江

皮膚・粘膜バリアの機能の異常

—環境因子の面から 須藤 一

アトピー性皮膚炎の日常生活における注意につ

いて 桑崎綾子

第4回都民公開講座 1999.10.16

「第4回都民公開講座」〈気管支喘息、最新の治

療とその背景〉開催にあたって

小川秀興

喘息はなぜ起こるのか？

—気管支喘息の病態生理—

瀬山邦明

ぜんそくとまぎらわしい病気—気管支喘息の診

断およびその鑑別について—

植木 純

長期管理ガイドラインに沿った成人喘息治療と

自己管理

村松正嗣

小児喘息 特徴と治療

永田 智

気管支喘息に対する水中運動の効果

高橋淳一郎

吸入のABC

深澤伸慈

喘息のリハビリテーション

笠原剛敏

第5回都民公開講座 2000.2.5

「第5回都民公開講座」〈花粉症：その対策は？〉

花粉症の背景

関 眞規子

目の花粉症（アレルギー性結膜炎）の原因・症

状・診断・予防

海老原伸行

目の花粉症の治療

横山利幸

鼻花粉症の症状と予防

藤森正登

鼻の花粉症の治療

榎本冬樹

花粉症の点眼薬・点鼻薬の使い方

—用法・使用上の注意点—

西羅輝雄

花粉症患者の日常生活について

岡田 綾

第6回都民公開講座 2000.6.17

「第6回都民公開講座」〈心臓病（虚血性心疾患）

からどうやって身をまもるか？〉

虚血性心疾患の病態と診断

代田浩之

虚血性心疾患の内科治療—薬物治療と冠動脈イ

ンターベンションの進歩—

宮内克己

虚血性心疾患の外科治療

—冠動脈バイパス手術—

細田泰之

予防対策としての治療法の実際

李野浩司

第7回都民公開講座 2001.2.17

「第7回都民公開講座」〈いきいきとした老後を

めざして〉開催にあたって

奥村 康

アルツハイマー病を疑ったら

一宮洋介

アルツハイマー病の認知機能障害に対する治療

—抗痴呆薬開発の現状— 高橋 正
 アルツハイマー病の病因の探求 新井平伊
 パーキンソン病治療の進め方
 水野美邦 金澤 章
 パーキンソン病の原因を追って 服部信孝

第8回都民公開講座 2001.6.16

「第8回都民公開講座」〈新時代のがん予防・治療・ケア〉開催にあたって 稲葉 裕
 健康生活習慣とヘルスプロモーション
 —がん予防をめざして— 島内憲夫
 がんの2次予防 菊地正悟
 がんの告げ方・支え方—看護する立場から見えてくること— 本間ヨシミ
 がんの治療—現状と展望— 笹井啓資

第9回都民公開講座 2002.2.16

「第9回都民公開講座」〈関節痛とつきあう〉
 開催にあたって 木南英紀
 膝の痛みとつきあう 黒澤 尚
 関節リウマチの病態と治療 橋本博史
 腰痛とつきあう 星野雄一
 関節痛と水泳 武藤芳照

第10回都民公開講座 2002.6.15

「第10回都民公開講座」〈中高年を健康に生きる〉開催にあたって 木南英紀
 いかに食べ、いかに飲むか 北村庸雄 佐藤信紘
 運動による健康づくり
 —気軽に歩いて、今日も元気— 武井正子
 男性の更年期を考える 白井將文
 キレイはこころを元気にする 手塚圭子

第11回都民公開講座 2003.4.19

「第11回都民公開講座」〈健康とスポーツ〉
 開催にあたって 宮野 武
 水泳と健康について 鈴木大地
 箱根駅伝—順天堂大学の挑戦— 沢木啓祐
 免疫・不老長寿 奥村 康

ゴルフ中に心筋梗塞を起こさないために 住吉正孝
 スポーツにおける突然死 河合祥雄
 目撃者による心肺蘇生法 釘宮豊城

第12回都民公開講座 2003.7.5

「第12回都民公開講座」〈中高年を美しく、若々しく過ごすために〉開催にあたって 木南英紀
 女の一生は女性ホルモンの影響を受けます 木下勝之
 HRTを安全に行うために 北出真理 木下勝之
 骨粗鬆症について 小堀宏之
 尿失禁・排尿障害 中田真木
 萎縮性膀胱 菊地 盤 武内裕之 木下勝之
 睡眠障害と抑うつ予防について 荒井 稔
 ヒト腎組織におけるテンシン発現の検討 山下倫史 富野康日己

第13回都民公開講座 2004.2.21

「第13回都民公開講座」〈かぜとインフルエンザ〉開催にあたって 木南英紀
 かぜとインフルエンザ—現在・過去・未来— 檀原 高
 インフルエンザの見分け方
 —インフルエンザの症状と診断— 奥村 徹
 インフルエンザにならないために、
 もし罹ってしまったら—日常生活の注意点、予防法・治療— 関谷 栄
 インフルエンザのハイリスクグループ 内藤俊夫
 ヒトインフルエンザと鳥インフルエンザ
 —疫学・合併症・治療法・予防法— 堀 賢

第14回都民公開講座 2004.6.19

「第14回都民公開講座」〈前立腺癌：どうしたらよいか〉開催にあたって 木南英紀
 前立腺癌の疫学と診断 川地義雄
 前立腺癌の治療—内分泌療法— 藤田和彦
 前立腺癌の治療—手術療法— 坂本善郎
 前立腺癌の放射線療法 唐澤久美子